

電子複写不可

13581

機関砲才百三大隊对空戦闘詳報

昭和二十三年三月二十二日

防衛研修所戦史部



1358 2/

一三四 防空戰鬥詳報

昭和三年一月
林園砲台百三大隊

1357

軍事秘

昭和二十一年一月

整理番号第 〇 〇 〇

自一月三日
至一月四日

戰鬥詳報

3940

機関砲第三百三大隊

W.D.C. #
56279

進達先		整理各師部隊	
野高司令官	第三十二軍司令官	第一師	第二師
野高司令官	第三十二軍司令官	第一師	第二師
野高司令官	第三十二軍司令官	第一師	第二師

進達區分

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

一敵未襲前
二敵部態
三彼我態
四各時機
五戰後
六將參
七其地
八陣地
九戰地
十諸元
十一人員損喪

⑤ 兵隊大表 一覽表
 ⑥ 彈藥損耗 一覽表
 ⑦ 主要兵器 一覽表
 ⑧ 大隊編成表

一 敵未襲前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

機動隊第百三大隊昭和十九年十月廿一日高休命令第四號並黃芝依
 命日第五四號環休命令第六號ニ依テ北對港及那霸港附近防壁ヲ
 命テ三大隊公波上神世兩側南北沿岸線障地ヲ守領シ其第一中隊ヲ若
 狹町基地附近第三中隊ヲ波二宮西南側高地第三中隊ヲ波二宮西南
 基地附近第三中隊ヲ波二宮西南側高地第三中隊ヲ波二宮西南側
 隊ノ關係位置別紙(附圖)如シ
 敵航軍諸情報ヲ綜合スルニ最近ニ於ケル敵機ノ狀況依然活潑ナルモ、
 如ク最近ハ津江諸島附近ニ敵機ノ動靜部隊厚ク保持スリ
 最近屢々B7Cヲ來襲スル態ニ部隊休宿込敷間於テ予テ航空監視人員
 敵機ヲ追跡セシ人員ヲ配置シキリテ南方特ニ排曉時ノ警戒ヲ至嚴ニ
 行フ
 三 部隊ノ行動ニ影響ヲ及ボシタル地形ノ狀態
 本島東部海岸線ノ起伏及地形ノ關係
 本島東部海岸線ノ起伏及地形ノ關係
 本島東部海岸線ノ起伏及地形ノ關係
 本島東部海岸線ノ起伏及地形ノ關係

陸軍部は予傳入我機群ヲ取悉セシメテ全圖ニシテハ如ク

一可也百機ノ小隊同向北ノ海軍速ニ一隊ヲ集約シテ予機群ヲ包圍スル
大ナリ機群ハ二海上ニ復シ機群ヲ集約シテ予機群ヲ包圍スル
如ク予機群開始ニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル

予機群ノ損害ヲ極力防セテ全圖ニシテハ如ク
陸軍部附近地形ハ約二百米ニテ海軍速ニ一隊ヲ集約シテ予機群ヲ包圍スル
夜ノ機群野原ニテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
百米ナリ大隊本部及中隊ノ陣地ノル機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
強度ハ概見成ニシテ

三彼我ノ兵ノ敵ノ編成ニ對シテ之ノ戰術

一可也百機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
主要兵器ハ九ノ式高射機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
且兵器ノ向ニシテ機群能良好又敵機ノ高ニ度ヲ以テ米機群ヲ包圍スル

開砲如ク低空機ヲ目標トスル部隊ヲテハ諸準備ニ相當餘裕アリ予機ニ有利ナ
ル兵有テ大隊編成及主要兵器別紙如ク敵ノ編成ニシテ予機群ヲ包圍スル
必四機及機種不明双機ヲ加ケルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
裝備セル兵器ハ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
敵ノ先頭機ヲ以テ本島上ニ先行我ヲ牽制後ニシテ予機群ヲ包圍スル
背ニ我ヲ以テ懸念ニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
飛機場ニ波以テ襲撃シテ散行スルノ戰術ヲ取リタリ

一可也百機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
昨日今日ナルヲ以テ部隊長以下將兵前日倍加シテ志氣旺盛既ニ敵ヲ包圍スル
敵ノ陣地ノ上ニ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
備セル兵器ハ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
敵ノ陣地ノ上ニ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スルニシテ予機群ヲ包圍スル
昨日今日ナルヲ以テ部隊長以下將兵前日倍加シテ志氣旺盛既ニ敵ヲ包圍スル

由各時機發射之經緯度部隊之動向及連絡施設状況

一月廿日大隊一日ヨリ毎日、約未幾スルニ對シテ休養施設間於テ對
空監視の警備を遂行シ、人員ヲ配置シテ警戒ヲ行ハシメタル處一
月廿日又五時一機北ヨリ侵入南ヨリ一機南ヨリ侵入、未幾スルニ本隊對空
監視見ハ直距離約二〇〇米大隊對空警戒機一機ハ吹巻マシメ
戰車機銃ヲ取リ、互通信連絡機ハ別紙命令ヲ下達セリ、又敵機機銃等
命入ルト共ニ高射砲第七九大隊三連隊ハ砲撃ヲ行フ、高射砲第七九大隊及小
隊機銃場前、高射砲八射撃ヲ砲撃シ有効彈ヲ浴セシモ我々高射砲機
砲其効ク國外(直距離三三米)ナル處發射シテ唯照準シタル、シヨレニ
ノマニ機銃隊二四〇〇方ヨリ陽光ノ背ニ高度一五〇〇ヨリ小隊機
行場ニ下降シ砲撃シタルニ部隊カ距離ハ一番近キニ中隊ニ於テ最短
三三米ナル等、高射砲機銃有効彈三三米以内發射シテ、唯照準シタル
ノミニ高射砲機銃ヲ射シテモ、ヤリシテ敵ハ四機、三編隊ヲ以テ
同シク二四〇〇方ヨリ陽光ノ背ニ高度一三〇〇ヨリ飛行場ニ没ク攻撃ヲ
敢行スルニ部隊カ同下同様カ國外ニ、ハ發射シテ見送リ

止メテ終ルニ、
同後南ヲ飛去ス兩機、四機高度約一〇〇〇ヨリニ嘉手納以南ヲ一〇〇
造機回偵察シ、後東ヲ一〇南ヲ二道走ス、一三三〇再、那霸上空ニ見
高度一〇〇〇ヨリ一四二〇頃迄高度ヲ以テ沖繩本島ニ向テ飛回タル後南
方飛去ス一四二〇以降那覇港一帶附近ニ敵機影ヲ認メス、又大隊警備地
内ニ果徹ヲ認メタル依リ大隊司令部第十一號ニ依リ緊急警備機二機
行發射シテ、警戒機二機ハ訓練ハ兵器彈藥、整備陣地、補強修裝ヲ再
美機ヲ二機ハ夜ニ入ル

一月廿日ヨリ休命令第十七號(別紙)ニ依リ、五三〇ヨリ警備機甲ノ戰備
轉機ハ至最ナル警戒ヲ爲シタル共ニ不意ニ襲撃ヲ降テ、超低空ニテ未幾ス
ル敵機ヲメニ訓練及兵器彈藥、整備陣地、補強修裝徹底ヲ敵
機未幾三萬全ヲ期シテ、タル處、〇九三六讀谷山村附近敵機四機侵入情
報ヲ大隊司令部ニ戰士機銃ヲ取リシメ、共ニ通信連絡機ハ別紙命令ヲ
下達セリ、又高射砲第七九大隊二連隊ハ一〇〇〇方ヨリ敵機飛行場ヲ攻撃、低
空監視間、情報下リ各中隊ノ讀谷山村附近至最ナル警戒ヲ爲シタル

處一〇〇ノ東北方海上第一中隊陣地直前四〇〇米ヲ西南方超位空ヲ
 以ニ米襲來ホルガミシハ十二機ヲ發見ス第一中隊此時第二第三中隊ノ敵
 機余リニ超位空ナルヲ目標ヲ捕獲得ス長ハ直十三高位角最モ高キ敵機ヲ
 目標トシ射令セリモ前カノ基地射擊隊中トナリテ發射シ得ス比間第一中隊
 第一中隊軍地間隙ヨリ一發射擊セリモ發射彈六發命令彈彈得ノ同時該
 第二第三中隊モ該敵機ヲ發見セリモ高位角位ノ第二中隊ノ全部前カノ基
 地リ死角至リテリル處波ノ上神社方ヨリ大隊本部ト空ヲ大キ機體ヲ動
 搖セシメテ第二中隊ヨリ亦捕獲ノ口ニシテトニリル時該輸送艦
 ヲ攻撃セル機一機該敵機ハ好目標トシテ超位空ニテ高度六〇ノ角度度極メ
 テ大ナル為第一中隊第一中隊ノ迅速ニテ發見セリメ捕獲一發射(三發)
 射擊命令彈彈六發中央部約射三發自機ヨリ降下海面十米附近ノ機體
 小隊飛行場ヲ向脱去ス 第三中隊ノ半積土式機體十九機陸地死角
 高岸ニテ一發果小隊分カシテ果地ノ小隊カク一機三果中第一小隊ノ海上ノ
 編隊ヲ第二中隊ノ陸地カク一機ヲ射擊第二中隊ノ射擊セル敵機ノ陸地西
 南約十五米附近ヨリ兩翼ヨリ發火シテ機體ニテ小隊ヲ向機影ヲ没ス

第一中隊ノ射擊セル目標陸地西南方四〇〇米附近ヨリ胴體ヨリ黒煙ヲ發シ
 機體着シテ動搖シシ小隊飛行場ヲ向機影ヲ没ス
 曉部隊ヲ突部隊ノ兵右機操縦者ヲ俘虜トスル目的ヲ以テ舟艇ニ
 依リ近接セシ處該機ヨリ射擊ヲ受メ尙該部隊右地ニ二機墜落セ
 シヲ確認ス又戰時間時々分リ時々分三秒ノ三秒間トス

五、戰半後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
 月四日一〇〇以降那霸港一帶附近敵機ヲ認メ又大隊警備地内ニ
 異機ヲ認メテ夜ノ大隊ノ敵ノ不意襲撃ニ備ヘテ射擊訓練ヲ果地ニシテ
 共ニ兵器彈藥ノ整備陣地補強傳授ノ用兵檢尋ヲ為シ次期戦力増
 強ニ萬遺憾ナキヲ期セリ

大將未ノ參考トナルハキ事須

二月三日戰半於テ敵ハ先ニ以テ我ヲ牽制セリメ之ヲ誘導夜ノ戰半機
 編隊ヲ陽光ヲ利用シテ目的地侵入スル爾後ノ対応要旨ヲ注意シ要ス
 二現在通信機材全然無キ為戰半指揮及テ指揮支隊ヲ未ニシテ遠ニ
 警備ト要ス

三極度ノ超低空目標ヲ対シテハ待撃固定射撃ニ依ルヲ可トス

七其ノ他

一月四日ノ戦ニ於テ最特異ナル現象ハ戦時間僅ク三秒前後ニシテ事前
通信連絡不良ナリシハ戦士ヲ導リモト判断スル即チ讀谷地矣言テ飛襲侵
入ノ敵機ノ行動ノ情報極メテ迅速ナリシ爲メ之ヲ対スル事前ノ準備完璧ニ
シテ始メテ撃墜セシムルヲ得タリト思ハ考セラル

尚近距離ニテ極メテ角速度大ナル敵機ヲ対シテハ固定阻上射撃ノ準備ノ必
要ナルヲ痛感ス

稲登中尉ノ指揮スル第三中隊機(尾砲六門)ハ中隊女兵的確ナル指揮掌握
射撃指揮ニ依リ敵機超低空目標ニ対シテ七十五発ノ小數彈ノ一発射ヲ以テ克
敵シラマンハニ機撃墜シ戰果ヲ發揮セリ以テ大隊女兵賞詞ヲ與ヘ

予坂少佐ヲ第拾參隊

機関砲第百三大隊命令

一月三日ノ八五五
那部本部

一〇八五五那部上空ニシテハ機高度約七千米ヲ以テ未撃ス

(部隊対空監視発見)

二大隊ノ直上ニ戦ニ終戦ニ轉移シ対空戦備ノ完璧ヲ期セシトス

三本部及各隊ノ直上ニ戦ニ終戦ニ轉移スヘシ

機関砲第百三大隊長 予坂少佐

下達 警報後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

機関砲隊第百三大隊命令

機関砲隊第百三大隊命令

一月三日
那覇本部

一 其後新報ヲ得ス

二 大隊ハ警急ニ安執由ニ務行現任ヲ繼續行セントス

三 本部及各隊ハ一〇四警急ニ安執申ニ務行スヘシ

四 不慮ニ急襲スル敵機ニ対シ警急ヲ嚴ニスヘシ

機関砲隊第百三大隊長 宇坂少佐

下達法 警急後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

写本命令第拾五號

機関砲隊第百三大隊命令

一月三日
那覇本部

一 一三四四那覇上空ニ見ス

二 大隊ハ直ニ戦士安執ニ轉移シテ対空戦備ヲ強化セントス

三 本部及各隊ハ直ニ戦士安執ニ轉移スヘシ

機関砲隊第百三大隊長 宇坂少佐

下達法 警急後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

第百拾六號

機関砲第百三大隊命令

一月三日一四三〇
那霸本部

- 一 敵情二閉シテハ其後新報ヲ得ス
- 二 大隊ハ警急ニ察知申ニ移行スルシ
- 三 本部及各隊ハ警急ニ察知申ニ移行スルシ
- 四 各隊ハ不意ニ襲スル敵機ニ対シ萬遺憾ナキヲ期スルシ

機関砲第百三大隊長 芋坂少佐

下達法 要旨傳達後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

第百拾七號

機関砲第百三大隊命令

一月三日一五三〇
那霸本部

- 一 敵情二閉シテハ新報ヲ得ス
- 二 大隊ハ警急ニ察知シニ移行セントス
- 三 本部及各隊ハ一五三〇警急ニ察知シニ移行スルシ
- 四 明朝ハ起床時ヨリ一〇〇〇迄警急ニ察知申ニ轉移シ不意ニ襲スル敵機ニ対シ遺憾ナキヲ期スルシ

機関砲第百三大隊長 芋坂少佐

下達法 要旨傳達後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

第百拾八號

機関砲第百三大隊命令

一月四日九三六
那霸本部

一〇九三大讀谷山村敵四機侵入

二大隊八直十三戰半姿勢ニ轉移し防空戰備ノ完璧ヲ期セントス

三本部及各隊八直十二戰半姿勢ニ轉移スヘシ

機関砲第百三大隊長 芋坂少佐

下達ニ警報後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

第百拾九號

機関砲第百三大隊命令

一月四日一〇〇
那霸本部

一敵機八本島脱去ス一〇〇〇空襲警報解除セラル

二大隊八警急姿勢乙ニ移行し現任警ヲ續行セントス

三本部及各隊八警急姿勢乙ニ移行スヘシ

四明朝起床時ヨリ一〇〇〇迄八警急姿勢申ニ轉移し戰備ノ完璧ヲ期スヘシ

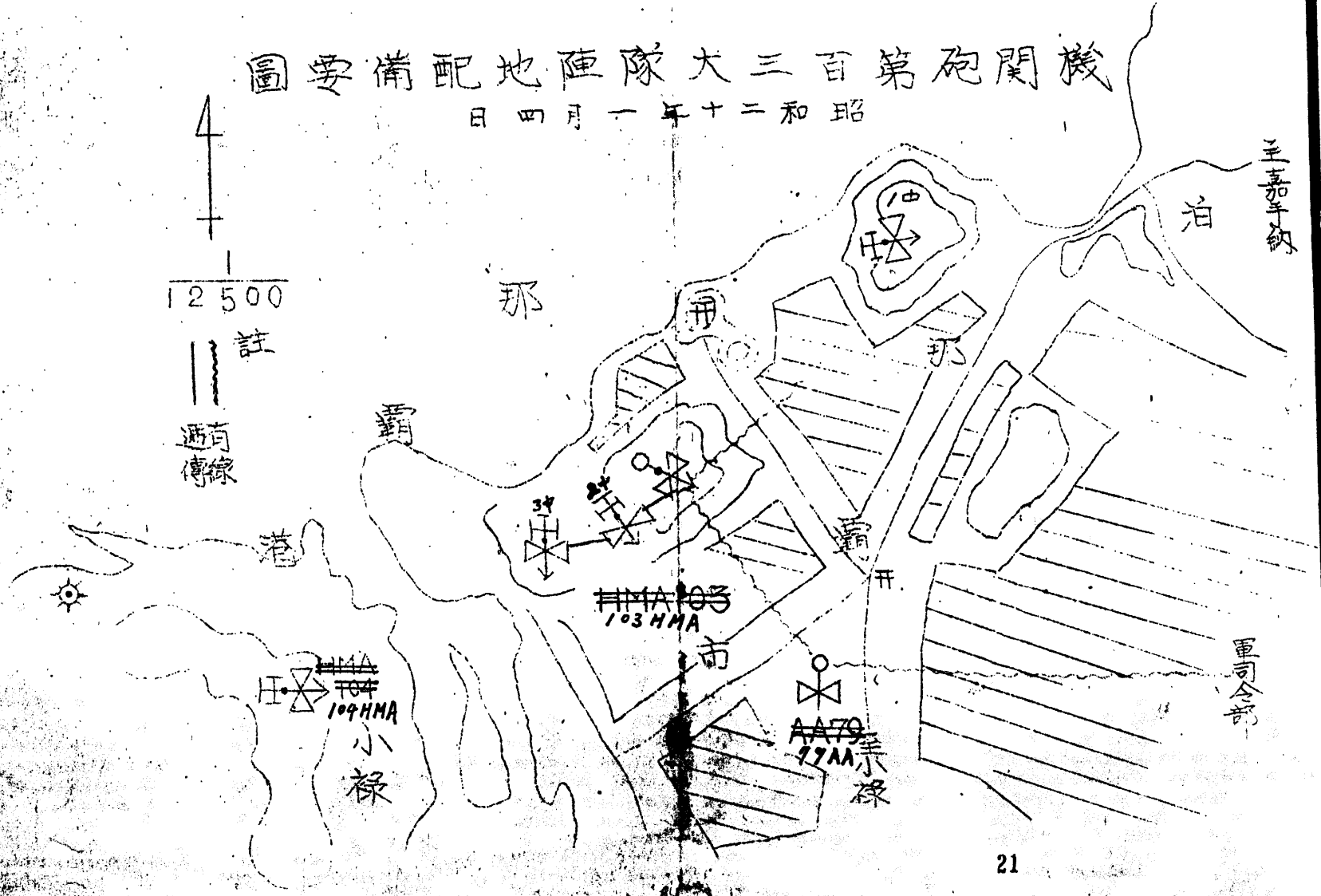
機関砲第百三大隊長 芋坂少佐

下達ニ警報後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

1376

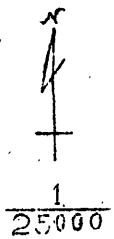
機關砲第三百大隊陣地配備要圖

昭和二十一年一月四日

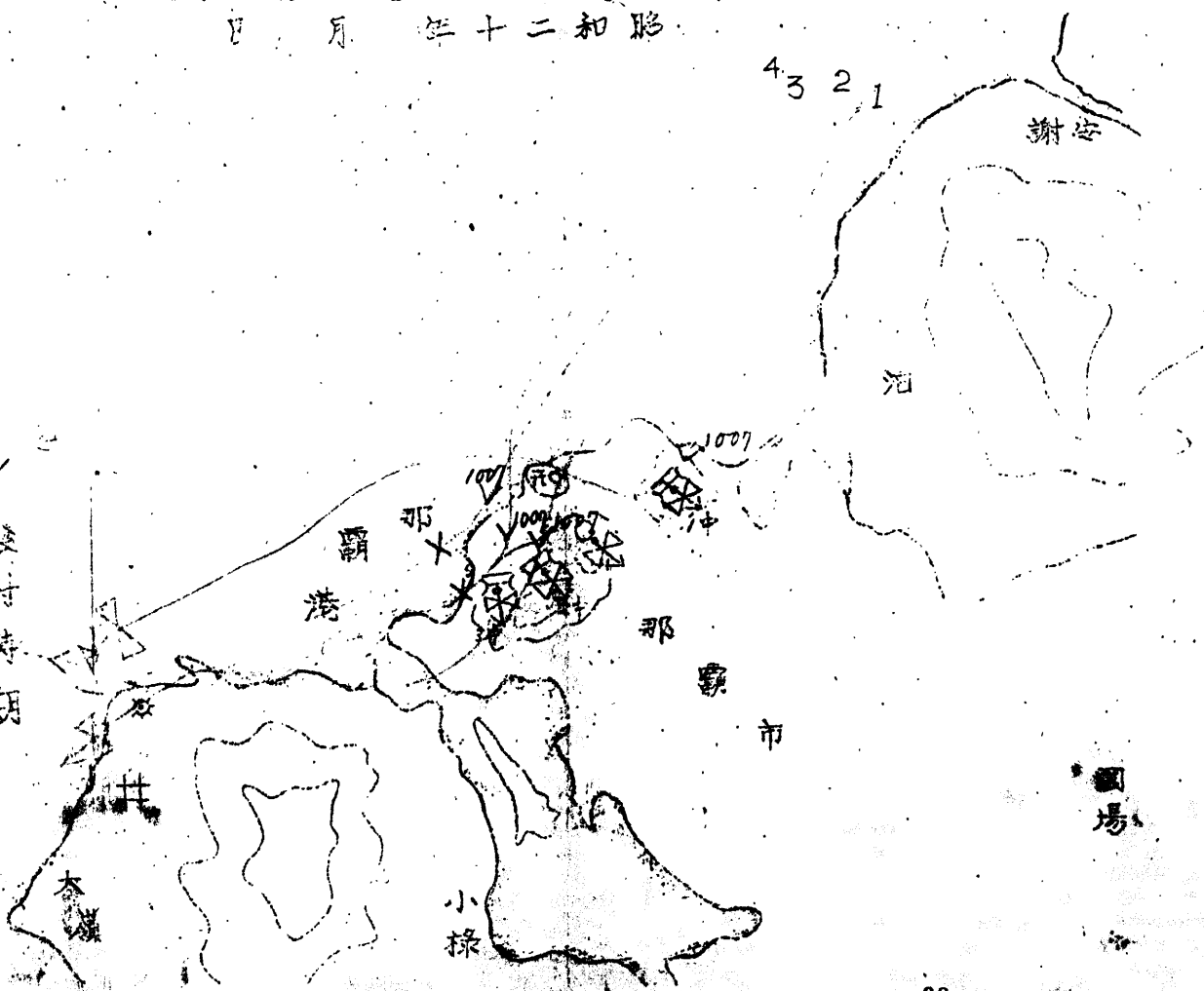


戰 關 經 過 要 圖

昭 和 二 十 二 年 月 日



⊗ 發射時期
 × 射擊位置
 √ 發射位置
 ⊗ 發射位置
 ⊗ 發射位置



附表三

備考	殘彈	使用彈數	擊墜數	機數	目標檢種	高度	距離	航速	航路角	發射時期	諸元中隊
	三四(書名及)	六		一二機編隊	グラマン機	一五〇	一五〇	一三〇	四〇〇	一〇〇六	一中隊
	三四()	三	一(擊破)	"	グラマン機	六〇	二〇〇	一三〇	三〇〇	一〇〇六	二中隊
	二七五()	十五	二	"	グラマン機	五〇及一〇〇	一五〇及二五〇	一三〇(一五及各隊)	一四〇〇一五〇〇	一〇〇六	三中隊

區分		員數	備考
火砲	使用不能	ナレ	
	一時使用不能	ナレ	
機砲	使用不能	ナレ	
	一時使用不能	ナレ	
観測具	使用不能	ナレ	
	一時使用不能	ナレ	
/			

附表五

兵器機材損害一覽表

區分		數	備考
將	死	ナレ	軍需品其他ニモ損害全クナレ
	傷	重	
輕		ナレ	
校	死	ナレ	
	傷	重	
輕		ナレ	
下士官	死	ナレ	
	傷	重	ナレ
輕		ナレ	
兵	死	ナレ	
	傷	重	ナレ
輕		ナレ	

附表四

人員損害一覽表

附表七

主要兵器一覽表

名	銃	稱	數	量	名	砲	稱	數	量
九式軍刀	九式軍刀	一	二		九八式高射機槍	一	八		
九式軍刀	九式軍刀	一	三		九八式高射機槍	一	六		
九式短小銃	九式短小銃	一	三		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	一		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	七		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	七		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	七		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	七		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	七		九八式高射機槍	一	六		
九式拳銃	九式拳銃	一	七		九八式高射機槍	一	六		

附表六

彈藥損耗一覽表

区分	總數	損耗數	現數	備考
彈藥機炮	4679	65	4614	
做甲白相	1665	19	1646	
喜原駐屯				喜原駐屯
白根駐屯				白根駐屯
神田				神田
彈				彈
				八七二〇
				三八二六
				及
				彈
				三

彈藥

一、大丸八分小丸是
 同、敵小一字鐵
 九、大丸小丸普通彈
 十、五年式普通彈
 九、三年式普通彈
 九、二年式普通彈

一三四四
 五四九
 二四〇
 一五三六
 一〇〇〇
 六〇〇〇

器具

大丸八分小丸是
 敵小一字鐵
 敵小一字鐵

三六
 二一
 一一

機關砲第三百三大隊本部編成表

次	隊守留 (名 尉)	區分將校	下士官	兵	陸軍中尉	軍橫山愚一	水海治
					蘇橋貴夫	西澤秀二	大淵忠治
					曹鏡田義雄	兵小枝美近	
					軍小山田利雄	石渡文男	
					兵小山田得	行與松男	
					青木定夫	青木定夫	
					米山善信	米山善信	

機關記第百三大家本部編成表

大 隊 長		陸 軍 少 佐		茅 坂 清 次		留 守 隊	
指 揮	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長
陸軍少尉 宮内敬二	陸軍少尉 柏三郎	陸軍少尉 永光一重	陸軍少尉 山中茂平	陸軍少尉 西澤文一	陸軍少尉 高橋廣隆	陸軍少尉 高橋整	陸軍少尉 高橋整
伍 新兵忠雄	伍 高橋廣隆	伍 山中茂平	伍 西澤文一	伍 高橋廣隆	伍 高橋整	伍 高橋整	伍 高橋整
兵 林幸一	兵 吉野英助	兵 石橋光美	兵 石田繁三	兵 松金力	兵 内藤信男	兵 内藤信男	兵 内藤信男
上 安藤一郎	上 原田定吉	上 石橋光美	上 石田繁三	上 松金力	上 内藤信男	上 内藤信男	上 内藤信男
陸軍少尉 藤橋貴夫	陸軍少尉 柏三郎	陸軍少尉 永光一重	陸軍少尉 山中茂平	陸軍少尉 西澤文一	陸軍少尉 高橋廣隆	陸軍少尉 高橋整	陸軍少尉 高橋整
軍 横山爲一	軍 高橋廣隆	軍 山中茂平	軍 西澤文一	軍 高橋廣隆	軍 高橋整	軍 高橋整	軍 高橋整
大 淵忠治	大 吉野英助	大 石橋光美	大 石田繁三	大 松金力	大 内藤信男	大 内藤信男	大 内藤信男
水 海治	水 原田定吉	水 石橋光美	水 石田繁三	水 松金力	水 内藤信男	水 内藤信男	水 内藤信男
相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博
陸軍少尉 藤橋貴夫	陸軍少尉 柏三郎	陸軍少尉 永光一重	陸軍少尉 山中茂平	陸軍少尉 西澤文一	陸軍少尉 高橋廣隆	陸軍少尉 高橋整	陸軍少尉 高橋整
軍 横山爲一	軍 高橋廣隆	軍 山中茂平	軍 西澤文一	軍 高橋廣隆	軍 高橋整	軍 高橋整	軍 高橋整
大 淵忠治	大 吉野英助	大 石橋光美	大 石田繁三	大 松金力	大 内藤信男	大 内藤信男	大 内藤信男
水 海治	水 原田定吉	水 石橋光美	水 石田繁三	水 松金力	水 内藤信男	水 内藤信男	水 内藤信男
相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博
陸軍少尉 藤橋貴夫	陸軍少尉 柏三郎	陸軍少尉 永光一重	陸軍少尉 山中茂平	陸軍少尉 西澤文一	陸軍少尉 高橋廣隆	陸軍少尉 高橋整	陸軍少尉 高橋整
軍 横山爲一	軍 高橋廣隆	軍 山中茂平	軍 西澤文一	軍 高橋廣隆	軍 高橋整	軍 高橋整	軍 高橋整
大 淵忠治	大 吉野英助	大 石橋光美	大 石田繁三	大 松金力	大 内藤信男	大 内藤信男	大 内藤信男
水 海治	水 原田定吉	水 石橋光美	水 石田繁三	水 松金力	水 内藤信男	水 内藤信男	水 内藤信男
相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博	相 田博

中隊隊長 陸軍大尉 林正一

原駐地	第一小隊	第二小隊	第三小隊	附屬
原駐地	第一小隊	第二小隊	第三小隊	附屬
原駐地	第一小隊	第二小隊	第三小隊	附屬
原駐地	第一小隊	第二小隊	第三小隊	附屬
原駐地	第一小隊	第二小隊	第三小隊	附屬

機関砲第三大隊第一中隊編成表

雄芳米開 尉中軍陸 長隊中

隊留茂地駐原	夫重因西長隊小一第	正安在機長隊小一第	雄政田安長隊小一第	指	尉
	隊分四第	隊分一第	班測觀	陸	屬
田小二宮前振言茂廣整能	2 6 5 4 3 2 1	3 5 4 3 2 1	手茂觀松飯羽及袖	長	給
中口崎腰川代部我田合會	德三富大化小能	高甲寺米中島岡	塚野岡岡野中川	曹	送
東伊尚達幸	堂森小越久福	山藤澤野山橋	貞廣春忠英	軍	上
郎祐義治郎秀郎郎	五万春教能	刑藤芳正	雄武雄那明	陸	屋
	隊分五第	隊分二第	班視監	尉	鈴
島村敏夫	2 6 5 4 3 2 1	2 6 5 4 3 2 1	二土大小本淡化合化	衛	木
梅原廣太郎	中佐渡畑高西遠和	植田村若石高島阿	二土大小本淡化合化	境	繁
	中崎山辺野田山藤	口边上色橋島山	二土大小本淡化合化	野	治
	勇次助吉郎松	富五良倉二	二土大小本淡化合化	寺	衛
	隊分六第	隊分三第	班信通	尉	三
田松氏菅米寺大花	2 6 5 4 3 2 1	2 6 5 4 3 2 1	一	長	代
澤崎家珍手泉	一六二	小大吉沼位元大	橋被口浦田伊小	任	川
中勝清	田松氏菅米寺大花	川宮田沼位元大	原村山中伊小	三	正
天勝清	澤崎家珍手泉	經冬茂郎	宗正天林天青	代	光

機関砲第百三大隊第二中隊編成表

藏富益稻 尉中軍陸 長隊中

隊留殘地駐原	光正我久	隊一第	雄行村木	隊一第	隊小揮指	屬	尉
隊分四第	隊分一第	隊分二第	隊分三第	隊分三第	班測電	班測電	班測電
大木 和野 高橋 佐野 高橋 佐野 高橋 佐野	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎
隊分五第	隊分二第	隊分三第	隊分三第	隊分三第	班信通	班信通	班信通
山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎
隊分六第	隊分三第	隊分三第	隊分三第	隊分三第	班信通	班信通	班信通
山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎	山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

藏富益稻百三十八隊第三中隊編成表

二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
木場健二	森秀隆	内田隆	覚田寛	河野博夫	大井達次	大河山照雄	海烟清義		
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
田本百壽一	永井利廣	滝裕良	鳥入厚	納周造	真山恭三	中倉善助	藤本國廣		
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
徳山一芳	分邊清	清瀬惠七	金久教好	田畑春吉	入院者	吉田賢二			
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
教善助子	西川甲子夫	樋口富久	萩原正夫						

初年女編成表